

大学番号： 68

注3

事前伺い

[平成31年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 人間教育専攻（修士課程）

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人鳴門教育大学

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画戦略課

職名・氏名 課長・濱 ^{ハマ} ^ダ ^{ミツ} ^オ
田 光 男

電話番号 088-687-6243

（夜間） 088-687-6000

F A X 088-687-6040

e-mail kikaku@naruto-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院学校教育研究科

＜人間教育専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人鳴門教育大学

(2) 大学名

鳴門教育大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒772-8502

徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当なし		
学長	ヤマシタ カズオ 山下 一夫 (平成28年4月)		
研究科長	ヤマシタ カズオ 山下 一夫 (平成28年4月)		
専攻長	カサイ マキコ 葛西 真記子 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
学校教育研究科 人間教育専攻 修士（教育学）	教育学・保育 学関係	2 年	120 人	— 年次 人	240 人	基礎となる学部等 学校教育学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	120人 若干人 120 (-) [-]		0.72倍	— 倍								
志願者数	() []	132 0 (-) (-) [20] [0]											
受験者数	() []	120 0 (-) (-) [19] [0]											
合格者数	() []	94 0 (-) (-) [19] [0]											
B 入学者数	() []	87 0 (-) (-) [18] [0]											
入学定員超過率 B/A									0.72倍				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期									
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	87	-	
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[18]	[-]	
	()	()	()	()	()	()	()	()			
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	
			[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	
			()	()	()	()	()	()	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	
					[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	
					()	()	()	()	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	
							[]	[]	[-]	[-]	
							()	()	(-)	(-)	
計									87		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[18]	[]	
	()	()	()	()	()	()	()	()	(-)	()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	87人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{87} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<学校教育研究科 人間教育専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 科目	子どものころへのアプローチ	1前		2		4	2					
	臨床心理学統計法	1後		2				1				
	福祉分野に関する理論と支援の展開 (障害者(児)心理学特論)	1前		2		2	1	1				
	教育分野に関する理論と支援の展開 (教育心理学特論)	1前		2		2	1					
	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 (犯罪心理学特論)	1休		2								兼1
	心の健康教育に関する理論と実践	1後		2		3	2					
	臨床心理学研究I	1前		2			1					
	臨床心理学研究II	2前		2		1						
	臨床心理面接研究I	1後		2		2						
	臨床心理面接研究II	2前		2		1						
	グループアプローチ論	1・2休		2								兼1
	臨床心理学研究法特論	1前		2		4	2	2				
	臨床心理面接演習	1前		2		4	2	2				
	臨床心理査定演習II	1後		2		1		1				
	臨床心理基礎実習	1通		2		4	2	2				
	保健医療分野に関する理論と支援の展開 (精神医学特論)	1前		2		1		1				
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1休		2				1				
	心理的アセスメントに関する理論と実践 (臨床心理査定演習I)	1前		2		3	2	1				
	心理支援に関する理論と実践	1前		2		1	1	1				
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 (家族心理学特論)	1前		2		1		1				
	心理実践実習I	1通		1		4	2	2				
	心理実践実習II (臨床心理実習)	2通		2		4	2	2				
	心理実践実習III	2通		1		4	2	2				
	心理実践実習IV	1通		2		4	2	2				
	心理実践実習V	2通		4		4	2	2				
	臨床心理実習II	2通		1		4	2	2				
	心の発達・教育創造研究	1・2前		2		1						
	心の発達・教育創造演習	1・2後		2		1						
	心理教育科学研究	1・2前		2			1					
	心理教育科学演習	1・2後		2			1					
心理・教育科学測定・評価演習	1・2後		2		1	1						
予防教育開発・実施演習	1通		4		1	1						
臨床人間関係知的障害・身体不自由・病弱・視覚障害・聴覚障害	1・2前		2		1							
生理心理学	1・2前		2		1							
障害心理学研究方法演習	1・2後		2		2							
障害臨床学特論	1・2後		2		2							
障害発達支援国際比較研究	1・2前		2		2							
コミュニティ障害共生支援演習	1通		4		2							

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 科目	子どものころへのアプローチ	1前		2		4	2					
	臨床心理学統計法	1後		2				1				
	福祉分野に関する理論と支援の展開 (障害者(児)心理学特論)	1前		2		2	1	1				
	教育分野に関する理論と支援の展開 (教育心理学特論)	1前		2		2	1					
	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 (犯罪心理学特論)	1休		2								兼1
	心の健康教育に関する理論と実践	1後		2		3	2					
	臨床心理学研究I	1前		2			1					
	臨床心理学研究II	2前		2		1						
	臨床心理面接研究I	1後		2		2						
	臨床心理面接研究II	2前		2		1						
	グループアプローチ論	1・2休		2								兼1
	臨床心理学研究法特論	1前		2		4	2	2				
	臨床心理面接演習	1前		2		4	2	2				
	臨床心理査定演習II	1後		2		1		1				
	臨床心理基礎実習	1通		2		4	2	2				
	保健医療分野に関する理論と支援の展開 (精神医学特論)	1前		2		1		1				
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1休		2				1				
	心理的アセスメントに関する理論と実践 (臨床心理査定演習I)	1前		2		3	2	1				
	心理支援に関する理論と実践	1前		2		1	1	1				
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 (家族心理学特論)	1前		2		1		1				
	心理実践実習I	1通		1		4	2	2				
	心理実践実習II (臨床心理実習)	2通		2		4	2	2				
	心理実践実習III	2通		1		4	2	2				
	心理実践実習IV	1通		2		4	2	2				
	心理実践実習V	2通		4		4	2	2				
	臨床心理実習II	2通		1		4	2	2				
	心の発達・教育創造研究	1・2前		2		1						
	心の発達・教育創造演習	1・2後		2		1						
	心理教育科学研究	1・2前		2			1					
	心理教育科学演習	1・2後		2			1					
心理・教育科学測定・評価演習	1・2後		2		1	1						
予防教育開発・実施演習	1通		4		1	1						
臨床人間関係知的障害・身体不自由・病弱・視覚障害・聴覚障害	1・2前		2		1							
生理心理学	1・2前		2		1							
障害心理学研究方法演習	1・2後		2		2							
障害臨床学特論	1・2後		2		2							
障害発達支援国際比較研究	1・2前		2		2							
コミュニティ障害共生支援演習	1通		4		2							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
現代教育課題総合コース	社会認識の方法	1・2前		2		1						
	社会分析の実践	1・2後		2		1						
	現代の子どもと学校教育	1・2前		2			1					
	現代教育人間論	1・2後		2		1	1					
	コミュニケーションと環境	1・2前		2			2					
	環境と文化	1・2前		2			1					
	文化とコミュニケーション	1・2前		2		1	1					
	人間と文化 I	1・2前		2		1	1					
	人間と文化 II	1・2前		2		1						
	人間と環境 I	1・2後		2			1					
	人間と環境 II	1・2前		2			1					
	人間とコミュニケーション I	1・2後		2			2					
	人間とコミュニケーション II	1・2後		2			2					
	自然科学の世界:進化生物学をモデルとして	1・2前		2			1					
	自然科学の方法 I	1・2後		2			1					
	自然科学の方法 II	1・2後		2					1			
	学校教育の人間形成的役割	1・2前		2		1						兼2
	子ども理解と生徒指導	1・2前		2		1	1					
	現代教育実践論	1・2前		2				1				
	現代学校文化論	1・2後		2				1				
	現代学習環境論	1・2前		2			1					
	現代教育情報論	1・2後		2			1					
	学校経営・授業改善と情報化	1・2後		2			1					
	教育情報化特論 I (教材・授業開発論)	1・2前		2			1					
	教育情報化特論 II (実践論)	1・2前		2			1					
	学校危機管理研究	1・2後		2								兼1
	予防教育科学	1・2後		2			1					
	教育実践フィールド研究(総合)	1・2通		4			1	1				
グローバル教育コース	国際教育人間論	1・2前		2			2					兼1
	教育研究・調査	1・2前		2		1	1					
	国際教育特論	1・2後		2		1	1					兼1
	国際教育演習	1・2後		2		1	1					兼1
	国際教育協力研究	1・2前		2			2					
	国際教育協力特論 I	1・2後		2			2					
	国際教育協力特論 II	1・2前		2		1	1					
	国際教育授業開発	1・2前		2		1	1					兼1
	国際教育協力演習	1・2前		2		1	1					
	国際教育総合セミナー I	1・2前		2		1	2					兼1
	国際教育総合セミナー II	1・2後		2		1	2					兼1
	国際教育数学内容論	1・2前		2		1						
	数学教育協力研究	1・2前		2				1				
	数学教育協力授業研究	1・2後		2		1	1					
	数学教育協力教材開発研究	1・2後		2		1	1					
	国際教育理科内容論	1・2前		2		1	1					
理科教育協力研究	1・2前		2		1	1						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
現代教育課題総合コース	社会認識の方法	1・2前		2		1						
	社会分析の実践	1・2後		2		1						
	現代の子どもと学校教育	1・2前		2			1					
	現代教育人間論	1・2後		2		1	1					
	コミュニケーションと環境	1・2前		2			2					
	環境と文化	1・2前		2			1					
	文化とコミュニケーション	1・2前		2		1	1					
	人間と文化 I	1・2前		2		1	1					
	人間と文化 II	1・2前		2		1						
	人間と環境 I	1・2後		2			1					
	人間と環境 II	1・2前		2			1					
	人間とコミュニケーション I	1・2後		2			2					
	人間とコミュニケーション II	1・2後		2			2					
	自然科学の世界:進化生物学をモデルとして	1・2前		2			1					
	自然科学の方法 I	1・2後		2			1					
	自然科学の方法 II	1・2後		2					1			
	学校教育の人間形成的役割	1・2前		2		1						兼2
	子ども理解と生徒指導	1・2前		2		1	1					
	現代教育実践論	1・2前		2				1				
	現代学校文化論	1・2後		2				1				
	現代学習環境論	1・2前		2			1					
	現代教育情報論	1・2後		2			1					
	学校経営・授業改善と情報化	1・2後		2			1					
	教育情報化特論 I (教材・授業開発論)	1・2前		2			1					
	教育情報化特論 II (実践論)	1・2前		2			1					
	学校危機管理研究	1・2後		2								兼1
	予防教育科学	1・2後		2			1					
	教育実践フィールド研究(総合)	1・2通		4			1	1				
グローバル教育コース	国際教育人間論	1・2前		2			2					兼1
	教育研究・調査	1・2前		2		1	1					
	国際教育特論	1・2後		2		1	1					兼1
	国際教育演習	1・2後		2		1	1					兼1
	国際教育協力研究	1・2前		2			2					
	国際教育協力特論 I	1・2後		2			2					
	国際教育協力特論 II	1・2前		2		1	1					
	国際教育授業開発	1・2前		2		1	1					兼1
	国際教育協力演習	1・2前		2		1	1					
	国際教育総合セミナー I	1・2前		2		1	2					兼1
	国際教育総合セミナー II	1・2後		2		1	2					兼1
	国際教育数学内容論	1・2前		2		1						
	数学教育協力研究	1・2前		2				1				
	数学教育協力授業研究	1・2後		2		1	1					
	数学教育協力教材開発研究	1・2後		2		1	1					
	国際教育理科内容論	1・2前		2			2	1				
理科教育協力研究	1・2前		2			2	1					

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル教育コース	理科教育協力授業研究	1・2後		2		1	1					
	理科教育協力教材開発研究	1・2後		2		1	1					
	日本語文法研究	1・2前		2			1					
	日本語音声表現研究	1・2前		2			1					
	日本語語彙論	1・2後		2			1					
	社会言語学研究	1・2休		2								兼1
	言語習得・発達論	1・2前		2			1					
	日本語教育学研究	1・2前		2				1				
	日本語教育法研究(日本語教育観察実習)	1・2前		2				1				
	日本語教育学演習	1・2後		2				1				
	日本語教育法演習(日本語教育グループ実習)	1・2後		2			1	1				
	日本語教育実習	1・2通		2			1	1				
	日本文化研究	1・2前		2				1				
	日本語Ⅰ	1・2前		2			1					
	日本語Ⅱ	1・2前		2				1				
	日本語Ⅲ	1・2後		2			1					
	日本語Ⅳ	1・2後		2				1				
	日本事情・日本文化	1・2後		2				1				
	異文化コミュニケーション研究	1・2前		2								兼1
	対照言語学研究	1・2前		2								兼1
	言語コミュニケーション演習	1・2後		2								兼1
	英語文化研究	1・2前		2		1						
	英語文化演習	1・2後		2		1						
	ライティング・スキルⅠ	1・2前		2			1					
	ライティング・スキルⅡ	1・2後		2			1					
	プレゼンテーション・スキルⅠ	1・2前		2			1					
プレゼンテーション・スキルⅡ	1・2後		2			1						
日本型学校教育課程の特徴と展開	1・2前		2		1	2						
小計(111科目)	-	0	227	0	13	14	5	1			兼9	
課題研究	課題研究Ⅰ	1前	2			13	14	5	1			
	課題研究Ⅱ	1後	2			13	14	5	1			
	課題研究Ⅲ	2前	2			13	14	5	1			
	小計(3科目)	-	6			13	14	5	1			
合計(114科目)	-	6	227	0	13	14	5	1			兼9	
卒業要件及び履修方法												
(心理臨床コース、現代教育課題総合コース) 所属するコースの専門科目24単位、課題研究6単位の合計30単位以上を修得すること。 (グローバル教育コース) 所属するコースの専門科目12単位、その他の専門科目(所属するコースを含む)12単位、課題研究6単位の合計30単位以上を修得すること。												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル教育コース	理科教育協力授業研究	1・2後		2		2	1					
	理科教育協力教材開発研究	1・2後		2		2	1					
	日本語文法研究	1・2前		2			1					
	日本語音声表現研究	1・2前		2			1					
	日本語語彙論	1・2後		2			1					
	社会言語学研究	1・2休		2								兼1
	言語習得・発達論	1・2前		2			1					
	日本語教育学研究	1・2前		2				1				
	日本語教育法研究(日本語教育観察実習)	1・2前		2				1				
	日本語教育学演習	1・2後		2				1				
	日本語教育法演習(日本語教育グループ実習)	1・2後		2			1	1				
	日本語教育実習	1・2通		2			1	1				
	日本文化研究	1・2前		2				1				
	日本語Ⅰ	1・2前		2			1					
	日本語Ⅱ	1・2前		2				1				
	日本語Ⅲ	1・2後		2			1					
	日本語Ⅳ	1・2後		2				1				
	日本事情・日本文化	1・2後		2				1				
	異文化コミュニケーション研究	1・2前		2								兼1
	対照言語学研究	1・2前		2								兼1
	言語コミュニケーション演習	1・2後		2								兼1
	英語文化研究	1・2前		2		1						
	英語文化演習	1・2後		2		1						
	ライティング・スキルⅠ	1・2前		2			1					
	ライティング・スキルⅡ	1・2後		2			1					
	プレゼンテーション・スキルⅠ	1・2前		2			1					
プレゼンテーション・スキルⅡ	1・2後		2			1						
日本型学校教育課程の特徴と展開	1・2後		2		1	2						
小計(111科目)	-	0	227	0	14	14	5	1			兼9	
課題研究	課題研究Ⅰ	1前	2			14	14	5	1			
	課題研究Ⅱ	1後	2			14	14	5	1			
	課題研究Ⅲ	2前	2			13	14	5	1			
	小計(3科目)	-	6			41	42	15	3			
合計(114科目)	-	6	227	0	13	14	5	1			兼9	
卒業要件及び履修方法												
(心理臨床コース、現代教育課題総合コース) 所属するコースの専門科目24単位、課題研究6単位の合計30単位以上を修得すること。 (グローバル教育コース) 所属するコースの専門科目12単位、その他の専門科目(所属するコースを含む)12単位、課題研究6単位の合計30単位以上を修得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・事前伺い時の専任教員等の配置は、完成年度の人数を記載していることから、平成31年度退職予定者は含まれていない。平成31年度の「国際教育理科内容論」の専任教員等の配置は、平成31年度退職教員を含むことから「教授1」から「教授2」に変更。
- ・事前伺い時の専任教員等の配置は、完成年度の人数を記載していることから、平成31年度退職予定者は含まれていない。平成31年度の「理科教育協力研究」の専任教員等の配置は、平成31年度退職教員を含むことから「教授1」から「教授2」に変更。
- ・事前伺い時の専任教員等の配置は、完成年度の人数を記載していることから、平成31年度退職予定者は含まれていない。平成31年度の「理科教育協力授業研究」の専任教員等の配置は、平成31年度退職教員を含むことから「教授1」から「教授2」に変更。
- ・事前伺い時の専任教員等の配置は、完成年度の人数を記載していることから、平成31年度退職予定者は含まれていない。平成31年度の「理科教育協力教材開発研究」の専任教員等の配置は、平成31年度退職教員を含むことから「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育効果向上のため、「日本型学校教育課程の特徴と展開」の配当年次(学期)を「前期」から「後期」に変更。
- ・事前伺い時の専任教員等の配置は、完成年度の人数を記載していることから、平成31年度退職予定者は含まれていない。平成31年度の「課題研究Ⅰ」の専任教員等の配置は、平成31年度退職教員を含むことから「教授13」から「教授14」に変更。
- ・事前伺い時の専任教員等の配置は、完成年度の人数を記載していることから、平成31年度退職予定者は含まれていない。平成31年度の「課題研究Ⅱ」の専任教員等の配置は、平成31年度退職教員を含むことから「教授13」から「教授14」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	111 科目	0 科目	114 科目	3 科目	111 科目	0 科目	114 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{114} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	142,423㎡	0㎡	0㎡	142,423㎡				
	運動場用地	95,785㎡	0㎡	0㎡	95,785㎡				
	小 計	238,208㎡	0㎡	0㎡	238,208㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	238,208㎡	0㎡	0㎡	238,208㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	39,106㎡ (39,106㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	39,106㎡ 39,106㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	20室	63室	44室	4室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	学校教育研究科 人間教育専攻		33 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分	
	学校教育研究科	361,403 [54,862] (358,861 [54,507])	3,914 [890] (3,944 [910])	8,457 [8,457] (8,457 [8,457])	5,067 (5,010)	447 (17)	3 (3)		
	計	361,403 [54,862] (358,861 [54,507])	3,914 [890] (3,944 [910])	8,457 [8,457] (8,457 [8,457])	5,067 (5,010)	447 (17)	3 (3)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					大学全体	
	3,138㎡	254	353,222						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体	
	2,274㎡	野球場,テニスコート,プール,艇庫,弓道場,課外活動共用施設を有している							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	鳴門教育大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
【学部】 学校教育学部 学校教育教員養成課程	4	100	0	400	学士 (教育学)	1.13	-	昭和61	徳島県鳴門市鳴門町高島字 中島748番地	
【大学院】 学校教育研究科 人間教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	平成20	徳島県鳴門市鳴門町高島字 中島748番地	平成31年度より学 生募集停止
人間教育専攻	2	120	-	240	修士 (教育学)	0.72	-	平成31	同上	
特別支援教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	平成20	同上	平成31年度より学 生募集停止
教科・領域教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	平成20	同上	平成31年度より学 生募集停止
高度学校教育実践専攻	2	-	-	-	教職修士 (専門職)	-	-	平成20	同上	平成31年度より学 生募集停止
高度学校教育実践専攻	2	180	-	360	教職修士 (専門職)	0.58	-	平成31	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<学校教育研究科 人間教育専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	栗飯原 良造 (64) <平成31年4月> 修士(学術)	専	教授	栗飯原 良造 (64) <平成31年4月> 修士(学術)
		臨床心理面接研究Ⅱ 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理基礎実習 心理的アセスメントに関する理論と実践 (臨床心理査定演習Ⅰ) 家族関係・集団・地域社会における心 理支援に関する理論と実践(家族心理 学特論) 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			臨床心理面接研究Ⅱ 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理基礎実習 心理的アセスメントに関する理論と 実践(臨床心理査定演習Ⅰ) 家族関係・集団・地域社会におけ る心理支援に関する理論と実践 (家族心理学特論) 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
専	教授	今田 雄三 (55) <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	今田 雄三 (55) <平成31年4月> 博士(医学)
		教育分野に関する理論と支援の展 開(教育心理学特論) 心の健康教育に関する理論と実践 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習 保健医療分野に関する理論と支援 の展開(精神医学特論) 心理的アセスメントに関する理論と 実践(臨床心理査定演習Ⅰ) 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			教育分野に関する理論と支援 の展開(教育心理学特論) 心の健康教育に関する理論と 実践 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習 保健医療分野に関する理論と 支援の展開(精神医学特論) 心理的アセスメントに関する理論と 実践(臨床心理査定演習Ⅰ) 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	葛西(金子) 真記子 (54) <平成31年4月> Ph. D. in Psychology	専	教授	葛西(金子) 真記子 (54) <平成31年4月> Ph. D. in Psychology
		臨床心理学研究Ⅱ 臨床心理面接研究Ⅰ 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理基礎実習 心理支援に関する理論と実践 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			臨床心理学研究Ⅱ 臨床心理面接研究Ⅰ 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理基礎実習 心理支援に関する理論と実践 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
		吉井 健治 (57) <平成31年4月> 博士(心理学)			吉井 健治 (57) <平成31年4月> 博士(心理学)
専	教授	子どものころへのアプローチ 教育分野に関する理論と支援の展開(教育心理学特論) 心の健康教育に関する理論と実践 臨床心理面接研究Ⅰ 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理基礎実習 心理的アセスメントに関する理論と実践(臨床心理査定演習Ⅰ) 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 子ども理解と生徒指導 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ	専	教授	子どものころへのアプローチ 教育分野に関する理論と支援の展開(教育心理学特論) 心の健康教育に関する理論と実践 臨床心理面接研究Ⅰ 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理基礎実習 心理的アセスメントに関する理論と実践(臨床心理査定演習Ⅰ) 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 子ども理解と生徒指導 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
		山崎 勝之 (64) <平成31年4月> 博士(文学)			山崎 勝之 (64) <平成31年4月> 博士(文学)
		子どものころへのアプローチ 心の健康教育に関する理論と実践 心の発達・教育創造研究 心の発達・教育創造演習 心理・教育科学測定・評価演習 予防教育開発・実施演習 学校教育の人間形成的役割 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			子どものころへのアプローチ 心の健康教育に関する理論と実践 心の発達・教育創造研究 心の発達・教育創造演習 心理・教育科学測定・評価演習 予防教育開発・実施演習 学校教育の人間形成的役割 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	高橋 眞琴 (56) <平成31年4月> 博士(教育学)	専	教授	高橋 眞琴 (56) <平成31年4月> 博士(教育学)
		子どものころへのアプローチ 福祉分野に関する理論と支援の展開(障害者(児)心理学特論) 臨床人間関係(知的障害・肢体不自由・病弱・視覚障害・聴覚障害) 障害心理学研究方法演習 障害臨床学特論 障害発達支援国際比較研究 コミュニティ障害共生支援演習 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III			子どものころへのアプローチ 福祉分野に関する理論と支援の展開(障害者(児)心理学特論) 臨床人間関係(知的障害・肢体不自由・病弱・視覚障害・聴覚障害) 障害心理学研究方法演習 障害臨床学特論 障害発達支援国際比較研究 コミュニティ障害共生支援演習 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III
		田中 淳一 (61) <平成31年4月> 医学博士			田中 淳一 (61) <平成31年4月> 医学博士
		子どものころへのアプローチ 福祉分野に関する理論と支援の展開(障害者(児)心理学特論) 生理心理学 障害心理学研究方法演習 障害臨床学特論 障害発達支援国際比較研究 コミュニティ障害共生支援演習 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III			子どものころへのアプローチ 福祉分野に関する理論と支援の展開(障害者(児)心理学特論) 生理心理学 障害心理学研究方法演習 障害臨床学特論 障害発達支援国際比較研究 コミュニティ障害共生支援演習 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III
専	教授	太田 直也 (59) <平成31年4月> 文学修士	専	教授	太田 直也 (59) <平成31年4月> 文学修士
		現代教育人間論 文化とコミュニケーション 人間と文化 I 人間と文化 II 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III			現代教育人間論 文化とコミュニケーション 人間と文化 I 人間と文化 II 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III
専	教授	山本 準 (64) <平成31年4月> 社会学修士	専	教授	山本 準 (64) <平成31年4月> 社会学修士
		社会認識の方法 社会分析の実践 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III			社会認識の方法 社会分析の実践 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	小澤 大成 (55) <平成31年4月> 博士(理学)	専	教授	小澤 大成 (55) <平成31年4月> 博士(理学)
		教育研究・調査 国際教育特論 国際教育演習 国際教育協力特論Ⅱ 国際教育授業開発 国際教育協力演習 国際教育総合セミナーⅠ 国際教育総合セミナーⅡ 日本型学校教育課程の特徴と展開 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			教育研究・調査 国際教育特論 国際教育演習 国際教育協力特論Ⅱ 国際教育授業開発 国際教育協力演習 国際教育総合セミナーⅠ 国際教育総合セミナーⅡ 日本型学校教育課程の特徴と展開 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
		武田 清 (55) <平成31年4月> 理学博士			武田 清 (55) <平成31年4月> 理学博士
		国際教育理科内容論 理科教育協力研究 理科教育協力授業研究 理科教育協力教材開発研究 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			国際教育理科内容論 理科教育協力研究 理科教育協力授業研究 理科教育協力教材開発研究 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
専	教授	前田 一平 (65) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	前田 一平 (65) <平成31年4月> 博士(文学)
		英語文化研究 英語文化演習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			英語文化研究 英語文化演習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
専	教授	松岡 隆 (65) <平成31年4月> 理学博士	専	教授	松岡 隆 (65) <平成31年4月> 理学博士
		国際教育教学内容論 数学教育協力授業研究 数学教育協力教材開発研究 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			国際教育教学内容論 数学教育協力授業研究 数学教育協力教材開発研究 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
			専	教授	香西 武 (67) <平成31年4月> 博士(理学)
					国際教育理科内容論 理科教育協力研究 理科教育協力授業研究 理科教育協力教材開発研究 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	小倉 正義 (39) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)	専	准教授	小倉 正義 (39) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)
		子どものころへのアプローチ 福祉分野に関する理論と支援の展開(障害者(児)心理学特論) 教育分野に関する理論と支援の展開(教育心理学特論) 心の健康教育に関する理論と実践 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理基礎実習 心理的アセスメントに関する理論と実践(臨床心理査定演習Ⅰ) 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 子ども理解と生徒指導 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			子どものころへのアプローチ 福祉分野に関する理論と支援の展開(障害者(児)心理学特論) 教育分野に関する理論と支援の展開(教育心理学特論) 心の健康教育に関する理論と実践 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理基礎実習 心理的アセスメントに関する理論と実践(臨床心理査定演習Ⅰ) 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 子ども理解と生徒指導 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
		久米 禎子 (44) <平成31年4月> 博士(教育学)			久米 禎子 (44) <平成31年4月> 博士(教育学)
専	准教授	久米 禎子 (44) <平成31年4月> 博士(教育学)	専	准教授	久米 禎子 (44) <平成31年4月> 博士(教育学)
		臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理基礎実習 心理的アセスメントに関する理論と実践(臨床心理査定演習Ⅰ) 心理支援に関する理論と実践 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理基礎実習 心理的アセスメントに関する理論と実践(臨床心理査定演習Ⅰ) 心理支援に関する理論と実践 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
		内田 香奈子 (40) <平成31年4月> 博士(学校教育学)			内田 香奈子 (40) <平成31年4月> 博士(学校教育学)
専	准教授	内田 香奈子 (40) <平成31年4月> 博士(学校教育学)	専	准教授	内田 香奈子 (40) <平成31年4月> 博士(学校教育学)
		子どものころへのアプローチ 心の健康教育に関する理論と実践 心理教育科学研究 心理教育科学演習 心理・教育科学測定・評価演習 予防教育開発・実施演習 予防教育科学 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ			子どものころへのアプローチ 心の健康教育に関する理論と実践 心理教育科学研究 心理教育科学演習 心理・教育科学測定・評価演習 予防教育開発・実施演習 予防教育科学 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
		課題研究Ⅲ			課題研究Ⅲ
専	准教授	金野 誠志 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)	専	准教授	金野 誠志 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)
		コミュニケーションと環境 文化とコミュニケーション 人間と文化Ⅰ 人間とコミュニケーションⅠ 人間とコミュニケーションⅡ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			コミュニケーションと環境 文化とコミュニケーション 人間と文化Ⅰ 人間とコミュニケーションⅠ 人間とコミュニケーションⅡ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
専	准教授	工藤 慎一 (57) <平成31年4月> 博士(農学)	専	准教授	工藤 慎一 (57) <平成31年4月> 博士(農学)
		自然科学の世界:進化生物学をモデルとして 自然科学の方法Ⅰ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			自然科学の世界:進化生物学をモデルとして 自然科学の方法Ⅰ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
専	准教授	谷村(一氏) 千絵 (45) <平成31年4月> 博士(人間科学)	専	准教授	谷村(一氏) 千絵 (45) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		現代の子どもと学校教育 現代教育人間論 コミュニケーションと環境 人間とコミュニケーションⅠ 人間とコミュニケーションⅡ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			現代の子どもと学校教育 現代教育人間論 コミュニケーションと環境 人間とコミュニケーションⅠ 人間とコミュニケーションⅡ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
専	准教授	田村 和之 (41) <平成31年4月> 博士(物理学)	専	准教授	田村 和之 (41) <平成31年4月> 博士(物理学)
		環境と文化 人間と環境Ⅰ 人間と環境Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			環境と文化 人間と環境Ⅰ 人間と環境Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
専	准教授	藤村 裕一 (60) <平成31年4月> 教育学士	専	准教授	藤村 裕一 (60) <平成31年4月> 教育学士
		現代学習環境論 現代教育情報論 学校経営・授業改善と情報化 教育情報化特論Ⅰ(教材・授業開発論) 教育情報化特論Ⅱ(実践論) 教育実践フィールド研究(総合) 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			現代学習環境論 現代教育情報論 学校経営・授業改善と情報化 教育情報化特論Ⅰ(教材・授業開発論) 教育情報化特論Ⅱ(実践論) 教育実践フィールド研究(総合) 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	石坂 広樹 (45) <平成31年4月> Ph. D. in Government and Public Policy	専	准教授	石坂 広樹 (45) <平成31年4月> Ph. D. in Government and Public Policy
		国際教育人間論 教育研究・調査 国際教育協力研究 国際教育協力特論 I 国際教育授業開発 国際教育協力演習 国際教育総合セミナー I 国際教育総合セミナー II 日本型学校教育課程の特徴と展開 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III			国際教育人間論 教育研究・調査 国際教育協力研究 国際教育協力特論 I 国際教育授業開発 国際教育協力演習 国際教育総合セミナー I 国際教育総合セミナー II 日本型学校教育課程の特徴と展開 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III
		石村 雅雄 (58) <平成31年4月> 教育学修士			石村 雅雄 (58) <平成31年4月> 教育学修士
		国際教育人間論 国際教育特論 国際教育演習 国際教育協力研究 国際教育協力特論 I 国際教育協力特論 II 国際教育総合セミナー I 国際教育総合セミナー II 日本型学校教育課程の特徴と展開 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III			国際教育人間論 国際教育特論 国際教育演習 国際教育協力研究 国際教育協力特論 I 国際教育協力特論 II 国際教育総合セミナー I 国際教育総合セミナー II 日本型学校教育課程の特徴と展開 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III
専	准教授	鎌田 スザーン (53) <平成31年4月> 芸術修士	専	准教授	鎌田 スザーン (53) <平成31年4月> 芸術修士
		ライティング・スキル I ライティング・スキル II 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III			ライティング・スキル I ライティング・スキル II 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III
専	准教授	Gerard Marchesseau (48) <平成31年4月> Master of Applied Linguistics (TESOL)	専	准教授	Gerard Marchesseau (48) <平成31年4月> Master of Applied Linguistics (TESOL)
		プレゼンテーション・スキル I プレゼンテーション・スキル II 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III			プレゼンテーション・スキル I プレゼンテーション・スキル II 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	田中 大輝 (40) <平成31年4月> 博士(文学)	専	准教授	田中 大輝 (40) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語文法研究 日本語音声表現研究 日本語語彙論 言語習得・発達論 日本語教育法演習(日本語教育グループ実習) 日本語教育実習 日本語 I 日本語 III 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III			日本語文法研究 日本語音声表現研究 日本語語彙論 言語習得・発達論 日本語教育法演習(日本語教育グループ実習) 日本語教育実習 日本語 I 日本語 III 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III
		寺島 幸生 (39) <平成31年4月> 博士(学術)			寺島 幸生 (39) <平成31年4月> 博士(学術)
専	准教授	寺島 幸生 (39) <平成31年4月> 博士(学術)	専	准教授	寺島 幸生 (39) <平成31年4月> 博士(学術)
		国際教育理科内容論 理科教育協力研究 理科教育協力授業研究 理科教育協力教材開発研究 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III			国際教育理科内容論 理科教育協力研究 理科教育協力授業研究 理科教育協力教材開発研究 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III
		川西 智也 (39) <平成31年4月> 修士(心理学)			川西 智也 (39) <平成31年4月> 修士(心理学)
専	講師	川西 智也 (39) <平成31年4月> 修士(心理学)	専	講師	川西 智也 (39) <平成31年4月> 修士(心理学)
		福祉分野に関する理論と支援の展開(障害者(児)心理学特論) 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理査定演習 II 臨床心理基礎実習 心理的アセスメントに関する理論と実践(臨床心理査定演習 I) 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践(家族心理学特論) 心理実践実習 I 心理実践実習 II(臨床心理実習) 心理実践実習 III 心理実践実習 IV 心理実践実習 V 臨床心理実習 II 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III			福祉分野に関する理論と支援の展開(障害者(児)心理学特論) 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理査定演習 II 臨床心理基礎実習 心理的アセスメントに関する理論と実践(臨床心理査定演習 I) 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践(家族心理学特論) 心理実践実習 I 心理実践実習 II(臨床心理実習) 心理実践実習 III 心理実践実習 IV 心理実践実習 V 臨床心理実習 II 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名			担当授業科目名		
専	講師	古川 洋和 (38) <平成31年4月> 博士(臨床心理学)	専	講師	古川 洋和 (38) <平成31年4月> 博士(臨床心理学)		
		臨床心理学統計法 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理基礎実習 保健医療分野に関する理論と支援の展開(精神医学特論) 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 心理支援に関する理論と実践 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			臨床心理学統計法 臨床心理学研究法特論 臨床心理面接演習 臨床心理基礎実習 保健医療分野に関する理論と支援の展開(精神医学特論) 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 心理支援に関する理論と実践 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ(臨床心理実習) 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅳ 心理実践実習Ⅴ 臨床心理実習Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ		
		竹口 幸志 (33) <平成31年4月> 博士(学校教育学)			専	講師	竹口 幸志 (33) <平成31年4月> 博士(学校教育学)
		現代教育実践論 現代学校文化論 教育実践フィールド研究(総合) 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			現代教育実践論 現代学校文化論 教育実践フィールド研究(総合) 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ		
専	講師	早田 透 (34) <平成31年4月> 博士(教育学)	専	講師	早田 透 (34) <平成31年4月> 博士(教育学)		
		教学教育協力研究 教学教育協力授業研究 教学教育協力教材開発研究 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			教学教育協力研究 教学教育協力授業研究 教学教育協力教材開発研究 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ		
専	講師	廣田 知子 (61) <平成31年4月> 修士(教育学)	専	講師	廣田 知子 (61) <平成31年4月> 修士(教育学)		
		日本語教育学研究 日本語教育法研究(日本語教育観察実習) 日本語教育学演習 日本語教育法演習(日本語教育グループ実習) 日本語教育実習 日本文化研究 日本語Ⅱ 日本語Ⅳ 日本事情・日本文化 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ			日本語教育学研究 日本語教育法研究(日本語教育観察実習) 日本語教育学演習 日本語教育法演習(日本語教育グループ実習) 日本語教育実習 日本文化研究 日本語Ⅱ 日本語Ⅳ 日本事情・日本文化 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		課題研究Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		課題研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	小汐(工藤) 千春 (55) <平成31年4月> 博士(理学)	専	助教	小汐(工藤) 千春 (55) <平成31年4月> 博士(理学)
		自然科学の方法Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ			自然科学の方法Ⅱ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ
兼担	教授	阪根 健二 (64) <平成31年4月> 教育学修士	兼担	教授	阪根 健二 (64) <平成31年4月> 教育学修士
		学校危機管理研究			学校危機管理研究
兼担	教授	皆川 直凡 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	兼担	教授	皆川 直凡 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		学校教育の人間形成的役割			学校教育の人間形成的役割
兼担	教授	数下 克彦 (58) <平成31年4月> 言語学修士	兼担	教授	数下 克彦 (58) <平成31年4月> 言語学修士
		対照言語学研究			対照言語学研究
兼担	准教授	眞野(奥野) 美穂 (42) <平成31年4月> 博士(学術)	兼担	准教授	眞野(奥野) 美穂 (42) <平成31年4月> 博士(学術)
		異文化コミュニケーション研究 言語コミュニケーション演習			異文化コミュニケーション研究 言語コミュニケーション演習
兼任	講師	木内 陽一 (64) <平成31年4月> 哲学博士	兼任	講師	木内 陽一 (64) <平成31年4月> 哲学博士
		学校教育の人間形成的役割			学校教育の人間形成的役割
兼任	講師	木村 昌紀 (40) <平成31年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	木村 昌紀 (40) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		グループアプローチ論			グループアプローチ論
兼任	講師	黒澤 良輔 (62) <平成31年4月> 教育学士	兼任	講師	黒澤 良輔 (62) <平成31年4月> 教育学士
		司法・犯罪分野に関する理論と 支援の展開(犯罪心理学特論)			司法・犯罪分野に関する理論と 支援の展開(犯罪心理学特論)
兼任	講師	近森 憲助 (68) <平成31年4月> 医学博士	兼任	講師	近森 憲助 (68) <平成31年4月> 医学博士
		国際教育人間論 国際教育特論 国際教育演習 国際教育授業開発 国際教育総合セミナーⅠ 国際教育総合セミナーⅡ			国際教育人間論 国際教育特論 国際教育演習 国際教育授業開発 国際教育総合セミナーⅠ 国際教育総合セミナーⅡ
兼任	講師	永田 良太 (45) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	永田 良太 (45) <平成31年4月> 博士(教育学)
		社会言語学研究			社会言語学研究

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

事前伺いの専任教員の配置については、完成年度の人数を記載しており、今年度に退職予定の教員は含まれていない。
このため、今年度（令和元年度）退職予定で、人間教育専攻の授業（1年次対象科目）「国際教育理科内容論」、「理科教育協力研究」、「理科教育協力授業研究」、理科教育協力教材開発研究」、「課題研究Ⅰ」、「課題研究Ⅱ」の6科目を担当する、香西 武教授（特命教授）を追加した。
本件は、事前伺いのため、「教員審査省略」。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **既に設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
12	4	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
13	14	5	1	33	14	14	5	1	34
(13)	(14)	(5)	(1)	(33)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
13	20	9			14	20	9		
(13)	(20)	(9)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
13	14	5	1	33	13	14	5	1	33
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
13	20	9			13	20	9		
[]	[]	[]			[]	[]	[]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	5
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{33}{33} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{3}{34} = \boxed{8.82} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
該当なし							

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
該当なし							

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当なし					

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{33} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当なし						

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>該当なし</p> </div>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時	<p>既存の同一名称の専攻を廃止して新たに同一名称の専攻を設置することについて、専攻名称の考え方の説明はなされているが、既存の専攻とは養成する人材像や教育課程が大きく異なることで、学生が混乱する可能性はなお残っているため、学生募集等の際に、学生に対し適切に説明することが望ましい。【助言事項】</p>	留意事項	<p>学生募集に係る入試広報において、学生が混乱することがないように、改組後の人間教育専攻の各コースの内容（養成する人材・教育課程等）を学生に丁寧に説明している。また、学生募集要項とセットで配布する「大学院ガイドブック」において、各コースの内容や所属する教員の専門領域等についての詳細を記載し、学生に周知している。</p>	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<学校教育研究科 人間教育専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div data-bbox="727 551 876 607" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学部・大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成31年度は、年間3～4回の開催を予定している。

参加者は、理事（3人）、副学長（1人）、各専攻長（3人）、各副専攻長（4人）、教務課長。

c 委員会の審議事項等

FD事業の運営に関する事。

卒業生・修了生及び教育長等に対するアンケート（教育内容等に関するもの）調査の分析に関する事

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法について研究会
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 教育内容等に関するアンケート調査の分析業務

b 実施方法

- ・ 授業方法について研究会
授業研究会の実施。目的に沿った講演会を実施。全体で討議。
- ・ 教員相互の授業参観
原則、全ての授業を公開。教員は、1科目以上を参観。参観した教員は、「授業観察記録」を作成し、授業担当教員に送付。授業担当教員は、「授業観察記録」により授業改善を実施。
- ・ 教育内容等に関するアンケート調査の分析業務
アンケート分析結果を学内外に公表するとともに、教育改善に活用。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業方法について研究会
授業研究会及び講演会を年間1回実施予定。
- ・ 教員相互の授業参観
年1回実施予定（期間は、2週間程度）。
- ・ 教育内容等に関するアンケート調査の分析業務
年1回実施予定。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

講演会等を行うだけでなく、討論会を実施することで、教員間の意識統一ができ、授業改善に役立っている。また、アンケート調査の分析後、懸案事項については、各担当に改善依頼をしており、PDCAサイクルが機能している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各最終授業会に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

ホームページ上で公表。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

<p>① 体制</p> <p>a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）</p> <p>b 委員会の開催状況（回数や開催日など）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>d その他</p> <p>② 審議状況</p> <p>a 審議した内容</p> <p>b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況</p> <p>c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況</p>	<p>該当なし</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>平成31年度に開設し、当初設定したとおり順調に進捗している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施していきたい。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・令和2年度に実施・公表予定</p> <p>b 公表方法</p> <p>記入例）</p> <p>・大学ホームページ上に公開予定</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・令和2年度に評価機関（独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構）の評価を受審予定</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）</p> <p>a ホームページへの公表予定の有無 （ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）</p> <p>b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 8 月 31 日 ）</p> <p>b 公表無の場合の特段の理由 （ ）</p>

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。